

GL アクティブ（国内研修） 実施講座名 『歴博を知ろう！』

- 1 目的 歴博は歴博研究の成果を分かりやすく伝えるためにどのような工夫をしているだろうか。デジタル技術の利用をケーススタディとして学び、自分たちのプレゼンテーションにどういかせるかについて考える。
- 2 日時 8月2日（火）～8月5日（金） 午後1時15分～午後4時30分  
（4日間同一のプログラム）
- 3 参加生徒 60名（1、2年生）
- 4 場所 国立歴史民俗博物館（佐倉市）
- 5 内容 講師 歴史民俗博物館 准教授 鈴木 卓治 先生  
生徒の知らない歴博の展示方法などについて説明していただきました。



第2展示室 中世 入口の表示法について  
展示の主題・副題の問題点についての説明



展示の導線の問題について



歴博の研究、デジタル展示について

## 6 成果と課題

今回の「歴博を知ろう！」だけでは、研究課題を見つけることは難しい。5月のSGHガイダンスで説明した1年生のゴール（目標）4つは、

- ① 全員が海外に自信をもって発信できる、日本の歴史、伝統、文化を語れるようにする。通史的なことではなく、自分が語れること。
- ② 研究したいグローバル社会における課題（日本を中心に考えてもよい）を見つける。（国際課題の解決に向けて、日本人に何ができるか、研究する。）
- ③ 英語のプレゼンができるようにする（プレゼンの手法も含めて）。
- ④ 課題研究の進め方を理解する。

でした。

特に今回の「歴博を知ろう！」は、③（プレゼンの手法）・④の参考になったと思います。